

朝六小だより

朝霞市立朝霞第六小学校

児童数 1096名

令和7年4月8日号



ご入学・ご進級 まことにおめでとうございます

校長 こじま たかし 小島 孝之

校舎増築工事が完成し、今年度、193名の新入生を迎え、全校児童1096名、38学級（通常学級34、特別支援学級4）で新学期がスタートしました。学校目標である「心豊かに自ら学ぶたくましい人間の育成」に向けて、学校、家庭、地域が一体となり、総がかりで子供たちの成長を後押ししていきたいと思っております。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。



〈六小バックネット裏の桜〉

申し遅れましたが、この度、田邊 雅也 校長の後任として、朝霞市教育委員会より着任いたしました、小島 孝之と申します。どうぞよろしくお願いいたします。昨年度まで積み上げられてきた取組を継承しつつ、新たな風を入れ、地域・家庭から信頼される学校づくりを進めてまいります。昨年度同様、多方面にわたりご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

自分で・自分から・相手のことを考え・思いやりのある人になろう

私がお子たちに望むこと、それは、思いやりのある子に育ててほしいということです。当たり前のことです。誰もがそう感じると思います。しかし現実では、人間関係のトラブルはなくなることがありません。日常、気をつけていても知らないうちに人を傷つけているケースもあります。社会生活とは自分の思いと相手の気持ちを伝えあい、尊重しながら、違いを理解しあい、折り合いをつけていくものです。

先週の金曜日、6年生が入学式準備のため登校をしました。新入学の教室装飾やそうじを行ったり、入学式の練習を行ったりすることが目的です。仕事を始める前、体育館に6年生が集合して、旧担任の早船教諭が「新6年生に仕事を任せると安心だね、さすが新6年生と思われるような仕事をしましょう。」と子供たちの背中を押してくれる話をしていました。

実際に、子供たちは新1年生のため、積極的に行動し、汗を流していました。雑巾を使って、ロッカーを一つ一つきれいに拭いていたり、お花紙で黒板や教室の扉の装飾をしていたり、メッセージを書いたり、教室や廊下、下駄箱、昇降口を丁寧に掃除していたりと全員が心ひとつに仕事をしていました。

私はその姿を見て、さすが6年生、リーダーとしての自覚が芽生えているなあ、と感心していました。これからの1年間の活躍にも大いに期待がふくらみました。

今年度、「自分で・自分から・相手のことを考え・思いやりのある人」を目指して教育活動を展開してまいります。皆様、どうぞご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

〈準備登校の様子…真剣に仕事をしています〉

